

栃木県わがまち未来創造事業計画書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	真岡市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	真岡市夏祭り花火大会 開催事業	総事業費	18,216,857	22,000,000	22,000,000	22,000,000	22,000,000	106,216,857
		うち市町支出額	1,800,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	1,900,000	9,400,000
		うち県交付金	900,000	950,000	950,000	0	0	2,800,000
2	尊徳夏まつり開催事業	総事業費	8,862,832	9,000,000	9,000,000	9,000,000	9,000,000	44,862,832
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	5,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	500,000	0	0	1,500,000
3	もおか人・夢・未来フェ スタ	総事業費		7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	28,000,000
		うち市町支出額		7,000,000	7,000,000	7,000,000	7,000,000	28,000,000
		うち県交付金		3,000,000	0	0	0	3,000,000
4	真岡井頭マラソン大会	総事業費		8,018,000	8,018,000	8,018,000	8,018,000	32,072,000
		うち市町支出額		2,160,000	2,160,000	2,160,000	2,160,000	8,640,000
		うち県交付金		1,080,000	1,080,000	840,000	0	3,000,000
5		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
6		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
7		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
8		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	27,079,689	46,018,000	46,018,000	46,018,000	46,018,000	211,151,689
		うち市町支出額	2,800,000	12,060,000	12,060,000	12,060,000	12,060,000	51,040,000
		うち県交付金	1,400,000	5,530,000	2,530,000	840,000	0	10,300,000

栃木県がまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡市夏祭り花火大会開催事業
事業主体の名称	真岡市夏祭り花火大会実行委員会
代表者の名称	藤枝 幸三
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市役所商工観光課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:真岡の夏まつりにおいて、五行川への入水神輿の明り取りの付け祭りとして花火大会を実施する ・設立年月日:昭和43年 ・構成員等:真岡市花火大会の趣旨に賛同する市民等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>真岡市では、昭和20年代後半より、市中心部の荒町、田町、台町の3町が中心となり、地域主体の夏まつりが実施されてきた。毎年7月下旬の3日間行われ、中日にはメインイベントとなる花火大会を開催するなど、地域の老若男女が一体となった取組により、真岡の夏の一大イベントとして定着し、市内外から多くの観光客が訪れている。</p> <p>しかし、少子高齢社会の進展に伴い、本市においても人口減少が進み、将来的な祭りの担い手不足が懸念されている。祭りの衰退は、地域の活力の低下さらには若者の人口流出にもつながりかねないため、いかにして市外からの訪問者を増やし、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうかが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・市外から真岡市を訪れるきっかけをつくる。 ・来場者に真岡市に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。 ・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。
事業概要	<p>本市最大の観光イベントとして、花火大会を実施する。</p> <p>【平成29年度】 例年多くの来場者がある花火大会を今年度も開催するほか、各目的に資するため、下線部の内容を追加し実施する。 《真岡市を訪れるきっかけ》 ◎真岡夏まつり花火大会の開催(平成29年7月22日(土) ※平成29年7月21日(金)～23日(日)の夏祭り期間 打上数2万発、音響・レーザーと連動した仕掛け花火やスターメインの打ち上げ ※同時開催・・・山車屋台9台と27基の神輿が一堂に会する「お祭り広場」、山車屋台9台による「ぶっつけ」、花火と同時に神輿が五行川を渡る「川渡御」 ○集客(広告・宣伝) ・チラシ32,000枚、ポスター4,000枚作成。JR高崎駅、JR水戸駅に掲示するほか、近隣市町への配布。 ・「下野新聞」「じゃらん(関東東北版)」「夏びあ(広域首都圏)」の紙媒体によるPR。また、新たな冊子への掲載(『おでかけ栃木北関東3県』) ・花火大会やお祭り関係のHPへの掲載。 ・とちぎテレビ、レディオベリーでの告知。 《真岡市に興味を持つ》 ○来場者に対し、真岡市の魅力PR・・・観光パンフレットおよびシティブロモーション冊子の配布 ○首都圏の子育て世代やUターン希望者に向けて、祭りや花火といった地域イベントの様子をプロモーション冊子やSNSに掲載し、真岡の魅力を発信していく。 《地域の連帯感》 各町会が持ち回りで当番町会となり、当番町会が中心となって花火を含めた夏祭り全体を盛り上げることによって、地域の連帯感を生み、市外から訪れた人たちに真岡市の地域の連帯感、良さを知ってもらう。</p> <p>【平成30年度以降】 平成29年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人(H28実績291万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳 (単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等	花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等		花火大会の開催 ・花火の打ち上げ ・プログラムの作成 ・広報宣伝等
事業費	18,216,857	22,000,000	22,000,000	62,216,857	22,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,800,000	1,900,000	1,900,000	5,600,000	1,900,000
うち県交付金	900,000	950,000	950,000	2,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	16,416,857	20,100,000	20,100,000	56,616,857	20,100,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	尊徳夏まつり開催事業
事業主体の名称	尊徳夏まつり実行委員会
代表者の名称	柴山 和之
事業主体の所在	〒321-4521 真岡市久下田848-5 にのみや商工会内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:夏祭りを実施することで、ふるさと意識を高揚し、市の活力を醸成し、市発展に寄与することを目的とする。 ・設立年月日:平成21年 ・構成員等:にのみや商工会、二宮地区区長会、二宮地区地域公民館連絡協議会、JAはが野、二宮地区こども会育成会連絡協議会、真岡市青少年クラブ協議会、尊徳太鼓保存会、等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>真岡市は、旧二宮町が旧真岡市に編入合併する形で誕生した市である。それぞれの市町では、合併前から様々な地域行事が行われてきたが、中でも町民が一体となって取り組む旧二宮町の花火大会は、世代を越えた町民同士の交流が図られる重要な場であるとともに、地域の行事として愛されていた。合併後も、地域融合の証し、地域住民の誇りとして存続させたいという思いから、平成21年に町民が中心となり実行委員会を立ち上げ、さらに祭りの名に郷土ゆかりのうら「尊徳翁」の名を付して開催を継続してきたところ、近年では、市外からも多くの観光客が訪れ(平成27年度8万人)、真岡の5大夏祭りの1つとして定着している。</p> <p>その一方で、真岡市の人口減少に伴い、旧二宮町地区でも少子高齢化が進み、将来的な祭りの担い手不足のほか、街としての機能の衰退が懸念されている。旧真岡市との地域融合を図りつつ地域住民の誇りとして継続してきた祭りの衰退は、地域の活力低下、若者の人口流出を助長しかねない。そのため、いかにして真岡市(二宮地区)への訪問者を増やし、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうかが課題となっている。</p> <p>※ 真岡の5大夏祭り・・・久下田祇園祭、真岡の夏祭り、もおか木綿踊り、灯ろう流し、尊徳夏祭り</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・真岡市(二宮地区)を訪れるきっかけをつくる。 ・来場者に真岡市(二宮地区)に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。 ・ふるさと意識の高揚と地域の連帯感を醸成する。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>近年来場者が増えている尊徳夏祭りを今年度も開催するほか、下線部の内容を追加実施する。</p> <p>《真岡市(二宮地区)を訪れるきっかけ》</p> <p>◎尊徳夏まつりの開催(平成29年8月26日(土))</p> <p>花火大会の実施。目玉は、会場から至近距離で打ち上げられる尺玉</p> <p>郷土芸能大会、ふれあい広場(模擬店、おたのしみ抽選会)、オープニングセレモニー、納涼盆踊り大会の実施</p> <p>○集客(広告・宣伝)</p> <p>首都圏からも人が訪れるイベントでのPR(「いちごまつり」(5月に真岡市で開催)や栃木SC真岡市民デーの会場でブース設置)</p> <p>ポスター、チラシを1,000部作成し、市内外の協賛者へ配布、公式WEBサイト、ツイッター</p> <p>新たな冊子への掲載(『おでかけ栃木北関東3県』)</p> <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <p>○来場者に対し、真岡市の魅力PR・・・観光パンフレットおよびシティプロモーション冊子の配布</p> <p>○首都圏の子育て世代やUターン希望者に向けて、祭りや花火といった地域イベントの様子をプロモーション冊子やSNSに掲載し、真岡の魅力を発信していく。</p> <p>《地域の連帯感》</p> <p>○郷土芸能大会において、地域ならではの芸能(尊徳太鼓など)を披露することで、地域の連帯感を醸成するとともに観光客にも地域の良さをアピールしていく。</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>平成29年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる ・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人(H28実績291万人)

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	尊徳夏まつり 8月27日(土)開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会	尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会	尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会		尊徳夏まつり 8月開催 ①郷土芸能大会 ②ふれあい広場 ③オープニングセレモニー ④納涼盆踊り大会 ⑤大花火大会
事業費	8,862,832	9,000,000	9,000,000	26,862,832	9,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	1,000,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	7,862,832	8,000,000	8,000,000	23,862,832	8,000,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	もおか人・夢・未来フェスタ
事業主体の名称	もおか人・夢・未来フェスタ実行委員会
代表者の名称	会長 小出 真一
事業主体の所在	〒321-4395 真岡市荒町5191番地 真岡市役所企画課内
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:地域の新たな賑わいを創出し、魅力あるまちづくりの推進、本市の魅力を発信する。 ・設立年月日:平成26年 ・構成員等:真岡市自治会連合会、真岡市国際交流協会、真岡市女性団体連絡協議会、真岡青年会議所、真岡市商店会連合会、真岡市文化協会、真岡市子ども会育成会連絡協議会、真岡鉄道株、真岡地域公民館連絡協議会、真岡商工会議所青年部、にのみや商工会青年部、真岡市観光協会
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>少子高齢社会の進展に伴い、本市においても人口減少が進み、地域の活力の低下、さらには若者の人口流出につながりかねない現状である。そのため、「いつ来ても、誰が来ても楽しめる！」をコンセプトに、小さいお子様から年配の方まで、幅広く楽しめる市民交流イベントを行い、真岡市の魅力を発信するもおか人・夢・未来フェスタを開催しており、昨年の来場者は約12,000人であった。しかし、今年で4回目の開催となるが、他のイベントと比較すると認知度が低い状況にあり、来場者をさらに増やし、交流人口を増加させることで、地域を気に入ってもらい、将来的に移住定住地として選んでもらうかが課題となっている。</p>
事業目的	<p>「いつ来ても、誰が来ても楽しめる！」をコンセプトに、小さいお子様から年配の方まで、幅広く楽しめるプログラムを開催し、地域の新たな賑わいを創出し本市の魅力を発信する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域コミュニティの活性化及びシビックプライドの醸成、未来を担う若者の団結を図る。 ・市外から本市を訪れるきっかけをつくる。 ・来場者に本市に興味をもってもらい、将来の移住定住候補地として考えてもらう。
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>◎もおか人・夢・未来フェスタ開催(平成29年11月5日(日))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元産の野菜やお米などを使用し、地域の味を発信する「市民対抗!もおかグルメグランプリ」の開催 優勝・準優勝・第3位には賞品(優勝旗・賞状)を贈呈 ・未来を担う地元若者たちの活力に満ち溢れたダンスパフォーマンスコンテスト『Very Berry Cup』の開催 優勝・準優勝・第3位には賞品(優勝旗・賞状)を贈呈 ・市内のグルメ・物産だけでなく、住民に寄り添った生活情報を発信する市内の店舗や市民・団体による様々なブース出店 ・真岡市ゆかりのアーティストによるライブステージ ・大道芸人によるバルーンパフォーマンス ・子供が安心して遊んで楽しめるブースの設置 <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <ul style="list-style-type: none"> ○来場者に対し、真岡市の魅力PR…観光パンフレットの配布 ○シティプロモーションによる真岡市の魅力PR…今年4月に作成した移住・定住者向け情報冊子「住もうか!モオカ」の配布 ○市内を走る真岡鉄道気動車にイベントPRラッピングを施し、市民にイベント参加を促すとともに、シビックプライドの醸成を図っていく。 《広告・宣伝》 ○チラシを市内全戸に配布する。 ○ポスター700部作成し、各種広報などにより県内外(コンビニ・スーパー等の商業施設、足利銀行などの金融機関)に広く発信する。 ○HPの充実を図る。 <p>【平成30年度以降】</p> <p>平成29年度実施内容及び集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人(H28実績291万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	年度	年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	もおか人・夢・未来フェスタの開催 ・グルメグランプリ ・ダンスコンテスト ・ブース出店 ・ライブ 等				もおか人・夢・未来フェスタの開催 ・グルメグランプリ ・ダンスコンテスト ・ブース出店 ・ライブ 等
事業費	7,000,000			7,000,000	7,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	7,000,000			7,000,000	7,000,000
うち県交付金	3,000,000			3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0			0	0
うち県交付金	0			0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	真岡市
事業名	真岡井頭マラソン大会
事業主体の名称	真岡井頭マラソン大会実行委員会
代表者の名称	委員長 田上 富男
事業主体の所在	〒321-4325 真岡市田町1251-1 真岡市総合体育館内スポーツ振興課
事業主体の概要	<p>・団体の目的:マラソンを通して市民の健康づくりや人とのふれあいの場を提供するとともに、本市のPRの場とすることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:昭和59年</p> <p>・構成員等:市体育協会陸上部、市体育協会、市スポーツ推進委員会、市内小中学校代表、真岡コットンRC、真岡ファミリー楽走会、井頭公園管理事務所、市職員等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本大会は、今年で第34回を迎え、市内をはじめ関東地区を中心に全国各地の多くのマラソン愛好者から親まれ、参加人数2,500人におよぶ本市の秋一大イベントとして定着している。大きな市民マラソン大会の影響により、マラソン愛好家が増加しており、ここ数年徐々に参加者数が増えている現状にある。</p> <p>しかし、大会開催地である井頭公園は中心市街地や観光地から離れており、マラソン参加者が観光地に足を運び、消費拡大や地域活性化とまでは結びついていないことが課題となっている。</p>
事業目的	<p>「市民ひとりスポーツ」の推進と生涯スポーツの振興を図るとともに、本市のPRや魅力を積極的に発信し、市外から本市を訪れるきっかけをつくり、来場者に興味をもってもらい、交流人口を増加させることで地域の活力の向上や地域産業の活性化につなげ、将来の移住定住候補地として考えてもらう。</p>
事業概要	<p>【平成29年度】</p> <p>◎真岡井頭マラソン大会の開催(平成29年10月1日(日))</p> <p>・種目 一般10km・4km 中学生4km 小学生5・6年2km 親子ペア2km 計17部門</p> <p>・参加人数 約2,500人(市内約900人、県内1,100人、県外500人)</p> <p>・コース 井頭公園及びその周辺道路</p> <p>《真岡市を訪れるきっかけ》</p> <p>○集客(広告・宣伝)</p> <p>・チラシ4,000枚、ポスター100部作成。(益子芳星高等学校、茂木高等学校、上三川高等学校、上三川町立中学校数校、栃木県体育館、栃木県総合運動公園、スポーツショップ、下野新聞社、読売新聞社、とちぎテレビ等)</p> <p>・HPに掲載</p> <p>《真岡市に興味を持つ》</p> <p>○来場者に対し、真岡市の魅力PR…観光パンフレットの配布</p> <p>中心市街地や観光地に足を運んでもらえるよう観光パンフレットを配布する。また井頭公園に隣接する井頭温泉・チャットパレス(宿泊施設)・あぐりっ娘(井頭フレッシュ直売所)に気軽に立ち寄ってもらえるよう観光パンフレットを配布し、マラソン大会以外でも楽しめることをPRし、何度も遊びに来てもらえるよう魅力を発信する。</p> <p>○参加者に観光パンフレットの配布…参加賞を配布する封筒の中に観光パンフレットを入れている。</p> <p>○観光PRできるブース設置</p> <p>特産物である真岡木綿やSLグッズ、いちごを使ったクッキーやジャムの販売をする。</p> <p>○入賞や参加賞とは別に特別賞を設け、本市で生産された米や農産物を贈呈する。</p> <p>○シニアプロモーションによる真岡市の魅力PR…今年4月に作成した移住・定住者向け情報冊子「住もうか!モオカ」の配布</p> <p>【平成30年度以降】</p> <p>平成29年度実施内容と集客結果を踏まえ、PDCAサイクルによる効果的な事業実施を図っていく。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>○基本目標2 真岡市へ新しいひとの流れをつくる</p> <p>・数値目標 年間観光客入込数 平成25年度284.5万人→平成31年度300万人(H28実績291万人)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理	マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理		マラソン大会開催 ・エントリー受付 ・コースの安全管理
事業費	8,018,000	8,018,000	8,018,000	24,054,000	8,018,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,160,000	2,160,000	2,160,000	6,480,000	2,160,000
うち県交付金	1,080,000	1,080,000	840,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,858,000	5,858,000	5,858,000	17,574,000	5,858,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	企画課
担当者名	大橋 真代
電話	0285-83-8102
FAX	0285-83-5896
E-mail	kikaku@city.moka.lg.jp